

証券口座の使用方法



株取引の売買方法

株取引の売買方法

1 売買単位と注文の出し方

株を買うのに最低限必要な金額を確認するには、
「株価（現在値）× 最低単位数（単元株数）」で計算します。

現在値

最新の株価のことです。
最新の株価とは、直近で取引が成立した値段を指します。

最低単位数（単元株数）

株を買うのに必要な最低株数のことです。
株式の購入では、銘柄ごとに売買する単位(単元)が決められています。1株から売買できる銘柄や100株から売買できる銘柄など、銘柄によって売買単位が異なります。

(例) ○○株式会社

株価1,000円・最低単位数(単元株数)100株の場合
 $1,000 \times 100 = 100,000\text{円} + \text{取引手数料}$

通常1単元(100株)での売買単位での取引ですが、証券会社によって取引単位に満たない(単元未満株)1株から売買することが可能な取引があります。

1単元100株のA銘柄の株価が1,000円の場合、通常取引の場合、10万円からの取引となりますが、単元未満株取引では、1株1,000円から売買が可能です。



成行注文と指値注文

成行注文

値段を指定しない注文方法。

寄付き前に成行の買い注文を出すと、寄付き値（始値）で即座に注文が成立します。

取引時間中に成行買い注文を出すと、その時に出ている最も低い株価の売り注文に対応して注文が成立します。

●成行注文のメリット

取引成立（約定）までのスピードが速い点です。

「買い」で成行注文を出せば、すぐに欲しい銘柄を手に入れられ、「売り」で成行注文を出せば、すぐに手放したい銘柄を早めに売却できる可能性が高くなります。

●成行注文のデメリット

自分が想定していたより高い（低い）価格で買い（売り）が成立しかねない点です。

たとえば、株価500円前後が自分にとってお手頃と考えて「買い」で成行注文しても、直前に大量の「買い」が入ることで株価が高騰し、一株550円で買いが成立してしまうことがあります。

特に、市場価格の変動が大きいときに成行注文を出すと、想定外の価格で約定しやすいです。

また、証券取引所で株式が売買される量（出来高）が少ない銘柄に対して成行注文を出す際も、想定外の価格で約定することがあります。

成行注文の手順

- ①国内株式のタブから、「銘柄を探す」の枠内に銘柄名、コードなどを入れ検索をクリックします。



- ②取引したい銘柄のページで「現物買」(「現物売」)をクリックします。



③株数:「購入したい株数」(基本は100株)

価格:「成行」

期間:「当日中」

取引パスワードを入力して「注文確認画面へ」をクリックすると発注できます。

注文入力 (現物買)

買付余力 株価 全板 取引所・PTS株価比較

501-0277371
カルビー (2229)
SOR対象銘柄

現在値 **2,837.5** ↓C 前日比 -136 (-4.57%) (25/02/07 15:30) [チャート](#)

始値	2,950 (09:00)	高値	2,950 (09:00)	安値	2,804 (09:57)
前日終値	2,973.5 (25/02/06)	出来高	1,230,500 (15:30)	売買代金	3,496,739 (千円)

通常/逆指値

OCO IFD IFDOCO

▶ 確認 目録更新 OFF

通常/逆指値

取引 現物買 [単元未満株注文](#)

市場 東証 ☒ SOR指定

株数 株 売買単位: 100

価格 ☐ 指値 条件なし 円 制限値幅: 2,337.5 ~ 3,338(25/02/10)
☒ 成行 条件なし ☐ 逆指値

期間 ☒ 当日中 ☐ 今週中 ☐ 期間指定 25/02/12

預り区分 ☒ 特定預り ☐ 一般預り

ポイント利用 ☒ 利用しない ☐ 利用する

ご注文の際には [ご注意事項](#) を必ずご確認ください。
SOR対象銘柄をご注文の際は、[SOR注文に際してのご注意事項](#) を必ずご確認ください。

取引パスワード:

注文確認画面を省略 ☐

売気配株数	気配値	買気配株数
--	成行	--
118,600	OVER	
200	2,852.0	
400	2,851.0	
1,800	2,850.0	
100	2,849.5	
700	2,849.0	
900	2,848.5	
300	2,848.0	
100	2,847.0	
100	2,846.5	
1,000	2,846.0	
	2,837.0	700
	2,836.5	500
	2,836.0	500
	2,835.5	200
	2,835.0	800
	2,834.0	3,900
	2,833.0	200
	2,832.5	100
	2,832.0	200
	2,831.0	500
	UNDER	142,500

クリック

指値注文

「買いたい(売りたい)」と値段を指定する方法です。

買いの注文を出した際は指定した価格以下の株価、売りの注文を出した際は指定した価格以上になったタイミングで約定する点が特徴です。

寄付き前に発注した場合、寄付きの株価が指値以下(売りの場合は指値以上)の時は、寄付き値段で成立します。成立しなかった場合は、その後の取引時間内に指値以下(指値以上)の金額になったタイミングで約定します。

指値注文は有効期限を指定し、期限までに注文が成立しなかったら指値注文は失効します。

指値注文は「指定した価格以下で買い、指定した価格以上で売りたい」という注文です。

●指値注文のメリット

メリットは、想定外の価格で売買成立する事態を防げる点です。

仕事中などこまめに値動きのチェックが出来ない時でも、基本的に想定外の値で約定することがないため安心できます。

●指値注文のデメリット

デメリットは、欲しい銘柄があっても指定した価格になるまで購入出来ない点です。

また、売りの場合は、指定した価格に上がるまで売りが成立しないので含み損が増えるおそれがあります。

たとえば、一株1000円で購入した株式が、現在900円に下がった場合、今後、上昇すると考え売却益を期待し、1100円で「売り」の指値注文を出したとします。

しかし期待に反し、株価がそのまま下がり続けると、約定できるタイミングがないため、含み損はさらに増えることになります。

成行注文・指値注文の使い分け

●どうしても買いたい株・売りたい株がある場合→成行注文

確実に購入したいときには成行注文が役立ちます。

ニュースやSNSで会社の好材料を知り「株価は上がる可能性が高い」と考えた場合などは成行注文で素早く購入できます。

また、保有する銘柄の株価が下落傾向にあり、「今後も上がる見込みがない」と判断した場合も、成行注文が売却しやすくなります。

●希望している価格で売買した場合→指値注文

取引を急ぐ必要が場合など自分の希望する価格で購入できる指値注文を選びます。

「これだけの利益を出したい」という明確な目標が決まっている場合も、保有する銘柄を売却する際に指値注文を選びます。

ただし、指値注文にすると、株価が自分の予想に反する動きをした際に、買い(売り)そびれることがあるので注意が必要です。

指値注文の手順

注文画面までは成行注文と同じです。

- ①国内株式のタブから、「銘柄を探す」の枠内に銘柄名、コードなどを入れ検索をクリックします。



- ②取引したい銘柄のページで「現物買」(「現物売」)をクリックします。



③株数:「購入したい株数」(基本は100株)

価格:「指値」で枠内に希望価格を入力する

期間:「当日中」(希望価格が現在の価格と近い場合)

「今週中」(希望価格が現在の価格と離れている場合)

＊期間内に約定されない場合は、失効になります。

取引パスワードを入力して「注文確認画面へ」をクリックすると発注できます。

注文入力 (現物買)

501-0277371

カルビー (2229)

SOR対象銘柄

現在値 **2,837.5** ↓C 前日比 -136 (-4.57%) (25/02/07 15:30) [チャート](#)

始値	2,950 (09:00)	高値	2,950 (09:00)	安値	2,804 (09:57)
前日終値	2,973.5 (25/02/06)	出来高	1,230,500 (15:30)	売買代金	3,496,739 (千円)

通常/逆指値 **OCO** IFD IFDOCO [移動](#) [目録更新](#)

通常/逆指値

取引: 現物買 [単元未満株注文](#)

市場: 東証 ☒ SOR指定

株数: 株 売買単位: 100

価格: 円

指値: ☐ 条件なし ☐ 成行 ☒ 条件なし

期間: ☒ 当日中 ☐ 今週中 ☐ 期間指定 25/02/12

預り区分: ☒ 特定預り ☐ 一般預り

ポイント利用: ☒ 利用しない ☐ 利用する

取引パスワード: [注文確認画面へ](#)

注文確認画面を省略 ☐

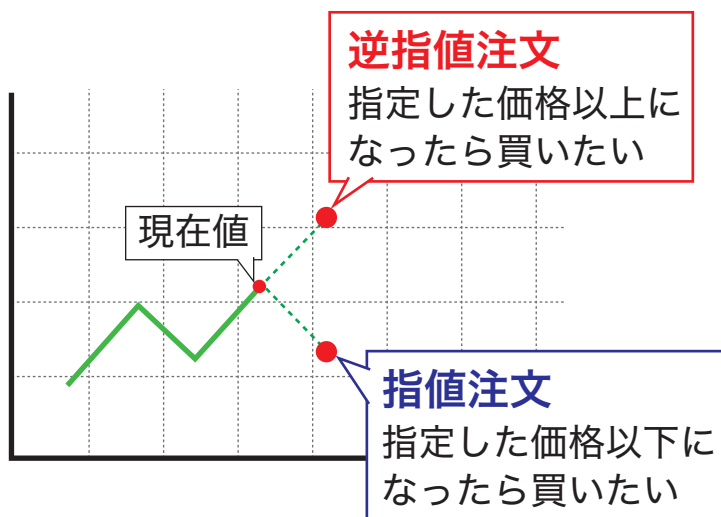
売気配株数	気配値	買気配株数
--	成行	--
118,600	OVER	
200	2,852.0	
400	2,851.0	
1,800	2,850.0	
100	2,849.5	
700	2,849.0	
900	2,848.5	
300	2,848.0	
100	2,847.0	
100	2,846.5	
1,000	2,846.0	
	2,837.0	700
	2,836.5	500
	2,836.0	500
	2,835.5	200
	2,835.0	800
	2,834.0	3,900
	2,833.0	200
	2,832.5	100
	2,832.0	200
	2,831.0	500
	UNDER	142,500

クリック

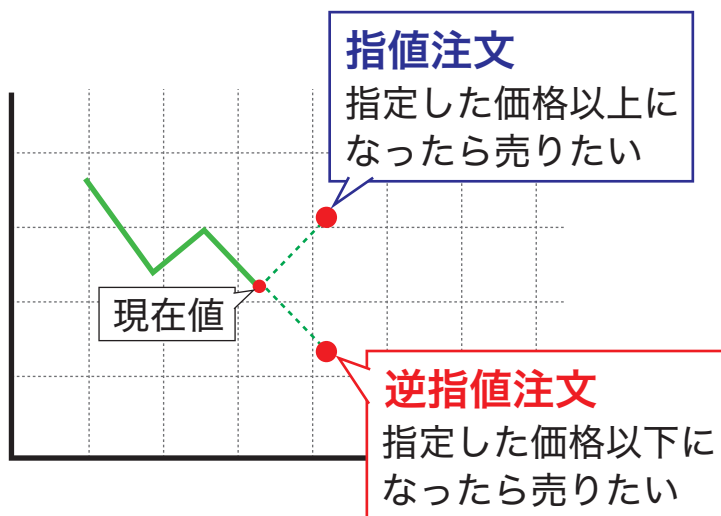
逆指値注文

逆指値注文は指値注文とは逆に「指定した価格以上になったら買う」「指定した価格以下になったら売る」注文方法です。

逆指値注文はどのような時に使うの？

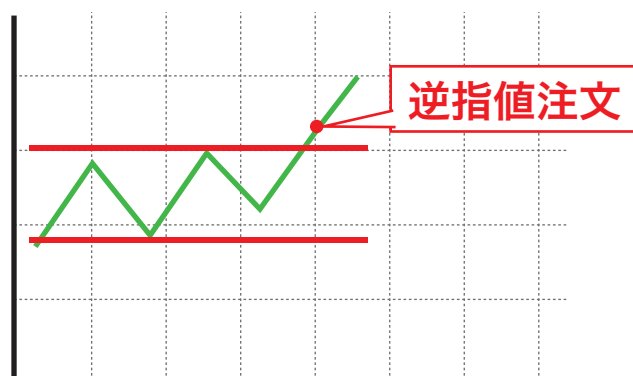


上昇トレンド中に、直近高値を上抜いたら、強い上昇を示す場合があるので、追加購入する場合など。



株価の下落局面で損切りをする場合など。

保合相場のボックス圏で高値を上抜いた場合も、上昇傾向になることがあるので、高値を抜けるところに逆指値を出すなどの戦略もあります。（トリガー価格）



●逆指値注文のメリット

自動的に損切りを行えるため、損失を限定することができます。

また、チャートを監視する必要がないため、忙しい方でも時間を有効に使うことができます。

●成行注文のデメリット

価格が指定価格に達しなければ約定することはないので、取引が成立しません。

また、市場の大きな変動が一時的なものであった場合は、逆指値を設定していたことにより利益獲得の可能性を逃してしまうこともあります。

例えば、市場価格が一時的に大きく変動し、損切りのための逆指値注文により決済された直後に、市場価格が再び上昇する場合があります。

逆指値注文の手順

注文画面までは成行注文と同じです。

- ①国内株式のタブから、「銘柄を探す」の枠内に銘柄名、コードなどを入れ検索をクリックします。



- ②取引したい銘柄のページで「現物買」「現物売」をクリックします。



③株数:「購入したい株数」(基本は100株)

価格:「逆指値」で枠内に希望価格を入力する
成行で執行

期間:「当日中」(希望価格が現在の価格と近い場合)

「今週中」(希望価格が現在の価格と離れている場合)

＊期間内に約定されない場合は、失効になります。

取引パスワードを入力して「注文確認画面へ」を
クリックすると発注できます。

カルビー (2229)
SOR対象銘柄

現在値 **2,837.5** ↓C 前日比 -136 (-4.57%) (25/02/07 15:30) [チャート](#)

始値	2,950 (09:00)	高値	2,950 (09:00)	安値	2,804 (09:57)
前日終値	2,973.5 (25/02/06)	出来高	1,230,500 (15:30)	売買代金	3,496,739 (千円)

通常/逆指値 OCO IFD IFDOCO [移動](#) [自動更新](#) [OFF](#)

通常/逆指値

取引 現物買 [単元未満株注文](#)

市場 [東証](#) ☐ SOR指定

株数 株 売買単位: 100

価格

☐ 指値 条件なし 円
制限値幅: 2,337.5 ~ 3,338(25/02/10)

☐ 成行 条件なし

☒ 逆指値
現在値が 円 以上になった時点で
☐ 指値 条件なし 円 で執行
☒ 成行 条件なし で執行

期間 ☒ 当日中 ☐ 今週中 ☐ 期間指定 25/02/12

預り区分 ☒ 特定預り ☐ 一般預り

ポイント利用 ☒ 利用しない ☐ 利用する

ご注文の際には [ご注意事項](#) を必ずご確認ください。
SOR対象銘柄をご注文の際は、[SOR注文に際してのご注意事項](#) を必ずご確認ください。

取引パスワード: [注文確認画面へ](#)
注文確認画面を省略 ☐

クリック

2

板の見方

投資における「板」とは、株式の指値売買注文状況を価格別に一覧にした表です。

買いと売りの指値を気配や気配値（けはいね）と呼びますが、この気配値を順番に並べて整頓したものを板と呼びます。

板は、証券取引所に出された売り注文や買い注文の価格と数量がリアルタイムで表示されています。

左側には売り注文の数、右側は買いの注文数、中央部分は気配値を示しています。

今いくらの価格でどのくらいの株数を売買できるのかを一目で知ることができます。

売気配株数	気配値	買気配株数
--	成行	--
118,600	OVER	
200	2,852.0	
400	2,851.0	
1,800	2,850.0	
100	2,849.5	
700	2,849.0	
900	2,848.5	
300	2,848.0	
100	2,847.0	
100	2,846.5	
1,000	2,846.0	
	2,837.0	700
	2,836.5	500
	2,836.0	500
	2,835.5	200
	2,835.0	800
	2,834.0	3,900
	2,833.0	200
	2,832.5	100
	2,832.0	200
	2,831.0	500
	UNDER	142,500

売りたい人の行列

2,846円で1,000株が
売りに出されている

2,837円で700株の
買い注文が出てている

買いたい人の行列

板が厚い、板が薄いつてなに？

投資における「板が厚い」とは、株式の売買において、買いまたは売り側の注文数量が多いことを意味します。

逆に「板が薄い」とは、注文数量が少ないことを意味します。

株式の注文は、買いたい人と売りたい人の株価と数量が合致することで約定になります。それゆえ、どんな銘柄であっても必ず売り買いが成立するとは限りません。

普段あまり売買がされていない銘柄であれば、買いたいと思っても売り手がいなくて買えなかったり、高値で売りたくても買い手がいないということもあります。

例えば、10,000株の買い注文を出そうとしても、板を見て10,000株以上の売り注文が出ていなければ注文は成り立ちません(価格はわかれていても良い)。

板が厚い
買いも売りも注文数量が十分出ている

売気配株数	気配値	買気配株数
--	成行	--
19,073,000	OVER	
502,000	200.9	
17,800	200.8	
7,800	200.7	
20,200	200.6	
292,700	200.5	
17,700	200.4	
18,700	200.3	
12,500	200.2	
275,800	200.1	
18,800	200.0	
	199.8	14,300
	199.7	35,100
	199.6	138,800
	199.5	156,600
	199.4	12,900
	199.3	179,300
	199.2	81,300
	199.1	241,300
	199.0	353,600
	198.9	267,200
	UNDER	13,448,100

板が厚い場合、成行でOK。
(取引が成立しやすい)

板が薄い
買いも売りも注文数量が少ない

売気配株数	気配値	買気配株数
--	成行	--
4,700	OVER	
100	1,090	
500	1,088	
200	1,087	
100	1,084	
200	1,080	
200	1,079	
100	1,077	
100	1,069	
100	1,064	
前 100	1,063	
	1,049	前 400
	1,046	200
	1,042	100
	1,041	100
	1,037	100
	1,036	100
	1,032	100
	1,030	300
	1,028	100
	1,023	100
	UNDER	15,800

板が薄い場合、指値が有効になる。

板に出てくる表示

前 取引開始前の気配値(寄付き前)

特 特別気配(特別買気配・特別売気配)

一度に大量の「買い注文」か「売り注文」が入った場合、両者の株数がつり合うまで一時的に取引を停止すること。

注 注意気配

売り注文が少ない時に、成行で買い注文を出すと価格がいきなり上昇することが考えられ、それを避けるために買値を時間をかけて上げていくこと。

S ストップ高・ストップ安

1日の値幅制限まで株価が変動すること。

連 連続約定気配

株価の急激な変動を抑えることを目的として、直前の約定値段から更新値幅の2倍を超える注文数量が出された場合に表示される。

OVER・UNDER

OVERは、一番上の価格より高い価格で出ている売り注文の合計株数。

UNDERは、一番下の価格より低い価格で出ている買い注文の合計株数。

売気配株数	気配値(円)	買気配株数	売気配株数	気配値(円)	買気配株数
1,000,000	OVER		45,000	成行	1,250,000
115,000	1,256		-	OVER	
145,000	1,255			-	
47,000	1,254			-	
51,000	1,253			-	
35,000	1,252			-	
38,000	1,251			-	
前 54,000	1,250		80,000	1,250	
	1,249	前 28,000		1,250	特 1,500,000
	1,248	30,000		1,248	20,000
	1,247	48,000		1,247	20,000
	1,246	96,000		1,246	30,000
	1,245	110,000		1,245	25,000
	1,244	120,000		1,242	30,000
	1,243	150,000		UNDER	120,000
	UNDER	900,000			

呼び値と制限値幅

呼び値とは

証券取引所で株式を売買するときの最小の価格変動単位(価格の刻み幅)のことです。

例えば、ある株の現在価格が1,000円だったとすると、その株の呼び値が1円なら、売買できる価格は999円、1,000円、1,001円といった具合になります。

株式の呼び値の刻み幅は銘柄の値段の範囲によって決まっています。

制限値幅とは

制限値幅とは、株価の1日の値動きの最大幅を決めるルールのことです。急激な株価の変動により投資家に不測の大きな損害や混乱を与えないために設けられています。

例えば、株価1,000円の銘柄の制限値幅が「300円」の場合

→ 最大1,300円まで上昇可能

→ 最低700円まで下落可能

この範囲を超える注文は成立しません。

制限値幅は銘柄の種類や市場によって決められており、特に急騰・急落時には「ストップ高」「ストップ安」と呼ばれる

IPO 株の仕組み

IPO 株とは

IPOとは、「Initial(最初の) Public(公開の) Offering(売り物)」の略で、「新規公開株式」または「新規公開株」「新規上場株式」などと表されます。

株式の所有が少数株主に限定されている未上場会社が、新たに証券取引所に株式を上場し、一般の投資家に向けて売り出すことを指します。

IPO 株投資とは

IPO株投資とは、上場する前にその会社の株を手に入れて、上場後はじめに付く株価(初値)ですぐ売ることによって利益を出すことです。

しかし、IPO株投資は、チャートもなく個人投資家への情報が不足しているため推奨していません。

IPO株式の初値が公募価格を常に上回るわけではなく、公募価格を下回ってしまうケースもあり、その時点で損失になることもあります。

ハイリスクハイリターンな投資方法とも言えます。